

和歌山市学校教育指針

- 確かな学力の育成
- 道徳教育の充実
- 健やかな体の育成
- 特別支援教育の充実
- 不登校・いじめ問題の解消
- 子供の安全確保の徹底
- 地域とともにある学校づくりの推進

保護者・地域の願い

- 基礎学力の定着
- 子供にとって楽しい学校
- 相手の気持ちがわかる子供に
- 地域に誇りをもつ

【学校の教育目標】

望ましい人間像をめざし、一人ひとりの子どもの主体性・創造性を養い、心身ともに健康で、豊かな人間性や社会性のある子どもの育成

【めざす児童像】

—たくましい子、やさしい子、考える子—

前年度の学校評価

- 生命を大切にすると心と思いやりの心を育てる取組ができています。
- 運動する機会が減っているため体力低下が心配される。
- 地域や保護者との情報共有を進める。

児童の実態

- 相手の個性を尊重できる。
- あいさつができる。
- 最後まで粘り強く取り組む力が弱い。
- 自分の考えを伝えることが苦手。

重点目標

開かれた学校

- ◎家庭・地域との連携充実
- ◎保幼小の接続、中学校区における学校間連携の推進
- 地域の資源活用の推進

たくましく健やかな体

- ◎体力向上の推進
- ◎基本的生活習慣の確立
- 危機回避能力の育成

大きく豊かな心

- ◎いじめの未然防止、早期発見
- ◎インクルーシブ教育の普及
- 道徳・人権教育の充実

確かな学力

- ◎基礎・基本の確かな定着
- ◎子供主体の授業の推進
- 家庭学習の定着
- 読書活動の推進

具体的な取組

- ◆各種便り、HP等を通して学校の情報を発信するとともに、授業や行事等を積極的に公開する。
- ◆地域の学習を通し、地域に誇りを持たせる。
- ◆中学校区での幼小・小中の連携や、保幼小の連携を推進する。
- ◆共育やコミスクを通して、地域の方々をゲストティーチャーとして招くよう努める。
- ◆図書ボランティア活動の活性化

- ◆「手洗い・うがい」など、感染予防についての知識を持ち、健康な生活について意識できるよう取り組む。
- ◆生活習慣の見直しを図る。
- ◆体力づくりを促進し、可能な範囲で体を動かす機会を設ける。
- ◆性教育を一層推進する。
- ◆避難訓練や交通安全教室を実施したり、アレルギー対応や心肺蘇生法について研修したりして安全意識を高め、危機回避能力を育成する。

- ◆道徳科においても、本校の研究テーマを意識した授業展開を行う。
- ◆QUを軸として、いじめアンケート等を年間に複数回実施し、いじめの未然防止・早期発見・対応に努める。
- ◆多様な個性を認め合える集団づくりを行う。
- ◆児童会活動、集会活動、学校行事、たてわり活動等でペア活動など子供同士が関わる機会を増やす。

- ◆学びのルールと、粘り強く考える学習習慣の定着を図る。
- ◆「貴志南ノート」を徹底し、学習に向かう姿勢づくりを徹底する。
- ◆保護者と協力し「家庭学習の手引き」が活用される手立てを講じる。
- ◆学校での読書時間を確保する。
- ◆関わり合いを大切に授業づくりを行う。
- ◆一人一台端末を有効に使う。

指標

- ・学校の様子がよく伝わった【HP閲覧数1年間に10000回】
- ・地域学習を学年に応じて1回以上行う【教師100%】

- ・朝ごはんを食べた【児童95%】(生活調べ)
- ・積極的に運動を行うよう計画し、実践する【教師95%】

- ・「わたしは学校が楽しい」【児童95%】
- ・「命の大切さや社会の決まりについて教えてもらっている」【児童95%】 ※上記2点は評価アンケート
- ・QUの学校生活満足群【85%】

- ・県学習到達度調査等の無答率の改善【県平均】
- ・「学校での勉強がわかる」【評価アンケート児童85%】

◎：特に重点的に取り組むこと

【】：目標数値